

競技注意事項

(鴻巣市立陸上競技場版)

1. 規則について

本大会は 2021 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技者の招集について

- 1) 招集所はメインゲートに設置する。
- 2) 競技者の競技エリアへの入場は競技役員の指示による。
- 3) 各種目の招集開始・完了時刻は競技日程記載の通りとし、招集開始時刻に競技者係から競技者本人が点呼を受ける。代理人による点呼は認めない。
- 4) 特別な理由がない限り、招集所の入口で手指、競技で使用するシューズ裏の消毒及びシューズの厚さ計測を行うこと。
- 5) 招集の際には、アスリートビブス・商標のチェックをする。また、トラック種目出場者は腰ナンバー標識(2枚)を受け取ること。
- 6) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んではならない。スマートウォッチについては電波を発信しない状態(機内モードなど)に設定している場合のみ、持ち込みを認める。
- 7) フィールド種目とリレー種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が「重複出場者届」(招集所に用意)を、**招集を受けることができない種目の招集開始時刻までに**、競技者係(招集所)に提出すること。
- 8) リレー種目は、オーダー用紙(招集所に用意)に記入して、**当該種目第1組の招集完了時刻1時間前までに競技者係(招集所)に提出すること**(メンバーについては競技規則第170条10を参照のこと)。
- 9) 棒高跳の練習は競技実施場所で競技開始時刻1時間30分前(男子)、1時間前(女子)から行うことができる。また棒高跳の招集は競技実施場所にて行う。
- 10) 招集完了時刻に遅れた場合や、「重複出場者届」及び「リレーオーダー用紙」がそれぞれの指定された時刻までに提出されない場合、当該種目を欠場したものとして処理するので注意すること。
- 11) リレーに1大学から複数のチームが出場する場合、それぞれのチームは独立した団体とみなし、チーム間での変更・交代は認めない。

3. アスリートビブスについて

- 1) アスリートビブスは正規のものを2枚配付する。そのままの大きさを胸と背に確実につけること。ただし、跳躍種目の競技者は、胸または背だけでも良い。
- 2) トラック種目出場者は競技者係で配付する腰ナンバー標識をパンツの右下やや後方に付けること。
- 3) 5000m、10000m、10000mW、4×400mR、七種競技、十種競技出場者には、レース用特別アスリートビブスを配付する(七種競技、十種競技出場者には最終種目のみ配付する)。
当該種目第1組の招集完了時刻1時間前までに、招集所へ受け取りに来ること。その際、確認のため事前に配付したアスリートビブスを必ず持参すること。
- 4) アスリートビブスの地色、数字の色は次の通りとする。

種目	アスリートビブス
男子	黄地×黒数字
女子	ピンク地×黒数字

男子 5000m/10000m/10000mW/ 4×400mR/十種	白地×黒数字
女子 5000m/10000m/10000mW/ 4×400mR/七種	白地×赤数字

4. 欠場について

エントリー後、何らかの事情で欠場する場合には、3月12日（土）19時までに欠場届（本連盟ウェブサイトに掲載）に必要事項を記入し監督が署名捺印の上、メール（entry@kgrr.org）または、FAX（03-5411-1499）に送信すること。

また、3月12日（土）19時以降（大会当日を含む）に欠場を申し出る場合は、欠場届（本連盟ウェブサイトに掲載）に必要事項を記入し監督が署名捺印の上、メール（entry@kgrr.org）を送信するか、大会当日に、招集所に用意してある欠場届に必要事項を記入し監督が署名捺印の上、競技者係（招集所）に提出すること。

5. 競技の抽選・番組編成について

- 1) 試技順は、プログラム記載の通りとする。
- 2) 本大会は対校戦ではないため、番組編成における同所属は配慮しない。

6. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具（投てき物・棒高跳用ポールを除く）は、すべて主催者が用意したものを使わなければならない。
- 2) 走高跳・棒高跳の練習に関しては主催者が用意するゴム製バーを使用して練習すること。
- 3) 投てき物に関して、持ち込みを希望する場合は、競技開始の1時間30分前から1時間前までに器具庫2（100mスタート付近）にて、技術総務兼公式計測員による検査を受け、使用することができる。検査に合格した用器具については「預り証」を発行の上、主催者で一括して借り上げ、参加競技者間で共有できるものとする。また、破損等については持ち込み者個人の責任とし、主催者が責任を負うことはない。なお、競技終了後、「預り証」を確認の上、競技終了後現地で返却する。
なお、個人所有のものは、競技場の備品としての扱いとなるので、他の競技者と共用になる。また、破損等については、持ち込み者個人の責任とする。持ち込みの投てき物は競技終了後、器具庫2にて返却する。

7. 競技について

1) トラック競技について

- ① 計時は全て電気計時（0.01秒）を用いて行う。
- ② 5000m以上の種目では、主催者で水を用意する。給水場所はバックストレートとする。
- ③ 以下の種目で一定時間内に残り1周に達しない者は失格とし、競技を中止させる場合がある。

男子 5000m	18分00秒
女子 5000m	19分30秒
男子 10000m	38分00秒
女子 10000m	40分00秒
男女 10000mW	60分00秒

- ④ 競技時間と出場者数の都合で、10000mWは男女同時に実施する。
- ⑤ 10000mWでは、先頭の競技者が残り1周となっても競歩審判員は移動しない。競技者の歩型が競技規則第230条2に明らかに反する時には、競歩審判員主任はその競技者に既に出されたレッドカードの有無にかかわらず、当該競技者を単独で失格にする権限を有するものとする。

2) フィールド種目について

- ① 走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投・やり投の試技は3回までとする。
- ② 練習跳躍を除き、踏み切り位置は当該競技者に示さない。
- ③ 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は以下の通りとする（ただし、天候等の状況により変更することもある）。

		練習	1	2	3	4	5	6	
走高跳	男子	1m75	1m80	1m85	1m88	1m91	1m94	1m97	以降最後の1人となるまで3cm刻みとする。
	女子	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	1m64	1m67	以降最後の1人となるまで3cm刻みとする。
棒高跳	男子	3m90	4m00	4m10	4m20	4m30	4m40	4m50	以降最後の1人となるまで5cm刻みとする。
	女子	2m90	3m00	3m10	3m20	3m30	3m40	3m50	以降最後の1人となるまで5cm刻みとする。

- ④ 三段跳の踏切板の位置は、砂場の近いほうの端から男子13m、女子10mとする。

3) 混成競技について

- ① 招集は1日目、2日目の最初の競技種目でのみ招集所で行う。招集時刻は競技開始時刻の30分前に開始し、20分前に完了とする。ただし、七種競技2日目の走幅跳は35分前に開始し、25分前に完了とする。なお、以後の招集は行わない。競技者は次の種目からは混成競技者控室に待機し、混成競技係の指示を受けること。
- ② 混成競技者控室は、諸室図参照のこと。
- ③ 混成競技者控室への付添、コーチ等の出入りは認めない。
- ④ 跳躍種目は1ピットで行う。競技者は、走高跳は1日目、棒高跳は2日目のそれぞれ最初の種目が終了した時点で、希望する高さを混成競技係に申請すること。なお、バーの上げ方は以下の通りとする（ただし、天候等の状況により変更することもある）。

種目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
十種競技	走高跳	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	1m76	1m79	1m81	+3cm
	棒高跳	2m30	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	3m10	+10cm
七種競技	走高跳	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	1m64	1m67	+3cm

※練習の高さは競技場所にて複数提示され、競技者はその中から選択する。

4) 助力について

- ① 当該競技に関係するしないにかかわらず、競技役員がある競技者に対して他競技者よりも有益となるような助言またはその他の支援を提供することは、当該競技者への助力とみなす。
- ② 周回種目において、周回遅れか、周回遅れになりそうな選手に競技者がペースメーカーとして競技をした場合、または先行する競技者が周回遅れの競技者のペースメーカーとして競技をした場合、両者を失格として扱う。

- ③ フィールド種目に出場している選手に対して競技エリア外(スタンド)にいる者が録画した映像を見せることは助力にはならないが、競技エリア外(スタンド)から見せることに限定され、録画した機材(ビデオ装置・携帯電話等)を競技エリアにいる競技者が手に持った場合は助力とみなす。

5) コーチングエリアについて

監督・コーチエリアをメインスタンド・バック芝スタンド・サイド芝スタンドに設ける。

8. 結果発表と抗議について

- ・各種目の結果の正式発表は、アナウンスにて行う。
- ・競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位や記録に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから 30 分以内に、TIC (100m スタート付近) にある抗議受付用紙に記入する。その後、担当総務員 (大会本部に常駐) を通じて審判長に伝達される。時間内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものと見なす。抗議に対して審判長は速やかに裁定を行う。

9. 商標等について

競技者が競技エリアに商品名のついた衣類、バックなどを持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。基準をこえる商標や競技役員から指導・指摘された場合は、必ずテープ等を貼って隠すこと。

10. 衣類の管理について

- 1)トラック種目出場者の荷物運搬用としてビニール袋を主催者で用意する。氏名、大学名、ナンバーを事前に記入すること。
- 2) スタート前に脱衣した衣類等はビニール袋に入れ競技役員が指示した場所に置くこと。

11. 緊急車両・応急処置の手配について

- 1) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部及び競技場の許可なく手配をしないこと。手配する場合は、競技場より車両の手配を行うので、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 2) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急処置を行うが、事故の結果について主催者は一切責任を負わないものとする。また、治療費等は本人負担とする。ただし、2021 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

12. その他

1) 入場規制について

今大会は、全てのエリアで ID カードがない者の立ち入りは禁止する。特に以下の区域に立ち入る者は、指定の ID カードを所持していなければならない。競技者は必ず ID カードをつけ、アスリートビブスでの規制エリア内への入場は認めない。

規制エリア	入場可能 ID (いずれか1つで可)
スタンド A・スタンド C	競技役員・選手・チームスタッフ
グラウンド・招集所	競技役員・選手
各諸室	競技役員

2) 盗難・紛失について

主催者で預かった物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない(遺失物等は TIC で保管するが、回収当日の全競技終了後 1 時間以内に申し出がない場合には即日廃棄する)。

3) 開門と閉門時刻について

	(開 門)	(閉 門)
3月16日(水)	11:00	20:30
3月17日(木)	8:10	19:00
3月18日(金)	8:10	15:30

※開・閉門時刻は厳守のこと。

- 4) 競技中に不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。

関東学生陸上競技連盟